

「今月の1枚」



タイサンボク (*Magnolia grandiflora*)

北アメリカ南東部原産の樹木で、ホオノキやモクレンと同じ仲間ですが、こちらは葉が常緑性です。日本では庭園によく植えられています。学名の*grandiflora*は「大きな花」を意味し、その名の通り巨大な花を咲かせます。花の中央で先端がかぎ状に曲がっているのが雌しべ、そのすぐ下にある白い鱗（うろこ）がたくさん集まったようなものが雄しべです。花を構成する部分（雄しべや雌しべ、花弁）は葉が進化して形を変えたものですが、この雄しべはまだ葉の形質を残しており、原始的な特徴を残しています。モクレン属の花は、まだ恐竜がいた時代に、花粉を虫に運ばせるシステムを構築した最初の花といわれています。

写真：加藤隆（2005.6.2 四国支所構内）、文：酒井敦

（No. 118 2005. 6. 15 掲載）